company newsletter

4 赤帽・ダンベぇときどき新聞 VOL19

2017.4.1 子供心を取り戻せるのか？ 発行元 小久保運送（有）/かたづけダンベぇ 0270-32-1542

愛車？利根大堰をバックに

中学生の頃「サイクル野郎」という連載漫画がありました。16才の少年が自転車で日本一周をし、様々なトラブルを乗り越えて成長していくというストーリーは、当時中学生だった私にも、共鳴できる部分もあり、ワクワクしながら読み進めた記憶があります。

そうして醸造されたマインドが、高校入学後にふつふつと湧き上がり、自分も自転車で遠くへ行きたいと思い始めました。そこで思い立ったのが、中学3年生の修学旅行で行った仙台市。幼い頃、仙台に居たこともあって目的として設定。仲の良かった友達2人も参加することになり、高1の夏休みに実行となりました。

地元を出て、国道50号、4号を進み、途中2回程他人の家に宿泊のお世話になり、4日目で到着。仙台に1泊。帰りは太平洋側6号を。思えば東日本大震災で被害のあった地域は、海を眺めながら走り、浜辺でキャンプしたエリア。JR富岡駅では野宿しようとして怒られ、遠くに見える発電所の点滅する灯は、今でも脳裏に焼き付いています。

旅を終え、まだ高1の自分たちですが、我ながら成長したなと、肌で感じました。子供のくせに、「可愛い子には旅をさせろ」ってホントなんだなと思ったりしたのでした（笑）。

実はそんなサイクル野郎だった自分はその後、自転車と疎遠になり、やがて車に乗るようになり、その体験や気持ちは霞の彼方へ消えていきました（笑）

以来30年近く、気持ちが蘇ることはなかったのですが、最近何故か自転車が気になりだし、とうとう買ってしまいました。さてこれでどこへ行ってやろうか。さすがに配達はできないでしょうが、徐々に脚を伸ばして、色々出かけてやろうかと画策中です（TK）

見守りサービス いよいよ始めます その1

本体になります。この他センサー、緊急用ペンダントも付属します。

見守りサービスについて今春から開始できるべく、先日、サービスの提供業者である、（株）立山システム研究所様本社（富山市）にて研修を受けてまいりました。

研修を受けてあらためて思ったのは、本サービスができうる限り手厚く、そして持てる技術を駆使してカバーしようとするシステムだということです。私が見守りサービスをチョイスする立場だったら、設置候補の一つには必ず入れると思います。（現在見守りサービスは多種多様です。どこまでの見守りが必要かで、サービスをチョイスすべきだと思います。）

上写真は**「本体」**です。**「緊急」**ボタンを押すと、24時間のコールセンターへ直接つながり（コールバックではありません）、スピーカーを通してハンズフリーで会話ができます。センターの判断で、必要があれば**「躊躇なく救急車の手配」**等を致します。その他、相談ボタンもあり、繋げる設定は自由です。親族でも良いですし、弊社の様な事業者でもOK。そして同時に赤外線センサーによる、見守りも行います。そのデータは本社に送られ、メールで予め受信設定しておいた方へ通知され見守られる方の状況を判断する材料とします。必要があれば電話や、直接現場へ行って本人の確認等を行います。そんな内容ですが、現在ウェブやパンフを作成中です。後ほどご案内致します。ご覧頂ければ幸いです。

柏屋さんの『いちご大福・LACCO TOWERどら焼き』

伊勢崎市野球場のすぐ裏手にある和菓子の**「柏屋」**さん。明治31年創業の老舗店に、今年も「いちご大福」の旗が立ちはじめたので、早速入店！

こちらのいちご大福は、伊勢崎産のブランドいちご「美麗」を使用しています。美麗といえば、糖度13度以上という甘～いこだわりの品種。しかも粒が大きいので、おのずと大福も大きくなります。餡は北海道産小豆を使用。いちごの甘さとのバランスを考え、餡の甘さは控えめ。いちごの甘さとみずみずしさを引き立てたさっぱりとした後味です。春季限定商品で、ゴールデンウイークくらいまでの販売となります。

一方、写真の左は**「LACCO TOWERどら焼き」**。人気ロックバンド LACCO TOWER のメンバー 真一ジェットさんのご実家としても有名な柏屋さん。バンド名の焼き印が入ったこちらが買えるのはここだけ！マーガリンもサンドされたコクのあるどら焼きです。

「柏屋」
住所：伊勢崎市波志江町4354-4
電話：0270-23-7046
営業時間 7:00～18:00 水曜定休

出典 伊勢崎佐波エリアを発見するサイト
「アイマップ」
http://www.imap.ne.jp

ひとこと

フェイスブックにアクセスすると、時折自分の過去の投稿が出てくることがあります。

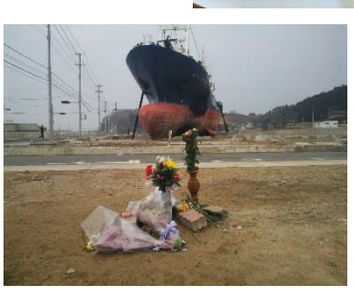
先日3月18日に、ある写真が出てきました。東日本大震災の際に、津波で陸に上がったままの船の写真です。

今から3年程前に、気仙沼の仮設住宅へボランティアに行き、その際に撮った写真だと思い出しました。

あれから6年の歳月が経ち、私達は一見、普段の生活を取り戻しているようですが、被災現場ではまだまだそうではない方々が多いと聞きます。

今年の3・11は地震の起こった14時46分をどう過ごしたか？明確に答えられる人はどれくらいいるのでしょうか？かくいう私も、後から気がついた人間です。

忘れないようにしなくちゃいけないことを、どうやって自分自身に刻みつけるか？方法は色々だと思いますが、考えるきっかけになりましたNZは役に立つし、人の考えを改めさせる力もあると感じた次第です。



鹿折唐桑駅前に座礁した船